



誤りを修正せず押し通すと最後に大破綻、知恵は将来を予知し、決断する為にこそある。過ち修正には当事者責任問題は不可避、己保身の小利益か、組織大局利益かの真贋判定。

①日本人に今もっとも警告しなければならない問題筆頭：

将来視点で日本人に今警告できる事は数あろうが、過去の間違いを認め、それを修正転換できるかに一つある。これが出来ないとは明白な大破綻、大自滅でしか止められない。

①間違いを抱えて永続的に突っ走る事は出来ない！。

矛盾崩壊定理：〈嘘過ちデタラメからは無法則秩序崩壊、要するに不幸な結果が起こる〉。

(1)商人前言「矛は楯を破る」と後言「矛は楯を破れない」の肯定否定の両命題同時実現三矛盾と言う実現不可能な嘘、誤りを主張。矛盾実現を認めると無法則秩序崩壊が論理学定理。

理由：Aである事とAでない事を合算して全てを実現とは何でもありの無秩序崩壊。

☞：既成の証明法があるが、本質は条件法命題真理値に既に矛盾崩壊定理が含まれる。

(2)矛盾の現世実際は人間言語、紙面等の[嘘、誤り、契約、ソフト、設計等]を介して起こる。

真とは望むべき「実現」の意味。機械故障、運転操作ミス、判断ミス等は破綻実現になる、

*)。下記の憲法9...は太文字表示ではありません、化け文字です。

②誤りが一向に修正されない嘘、誤り、契約、設計思想等の例リスト(まだ他にも多数ある)。

(1)歴史事実としての開戦敗戦指導者責任の昭和天皇と憲法1条象徴天皇制の矛盾。

憲法9条では国際紛争解決手段としての軍事力行使禁止、他方自然権としての自衛権利*。

憲法25条での国の生存権利保障義務と家なし人多数の存在事実。

(2)人間の局所欲望による科学経済拡大と天候&地上資源大局大破壊(人類幸福設計)。

工業化は建造物製品等の人工的秩序建設には間違いがないが、同時にそれ以上の資源環境汚濁が付随する<一般化カルノ-定理と言われる熱力学第二法則拡張版>。

(3)商売やり過ぎは過当競争と独占支配形成、過剰労働、過剰生存資源破壊、所得格差拡大、無意味な過剰華美虚栄競争等々でいい事がない。競争扇動の結果、皆が己保身だけに集中、人間関係破壊と緊張持続の生活で心身傷病も多発、結果は逆の不幸に傾斜中。

(4)9/11米政府自作自演テロ事件の歴史的巨大嘘と国連非公認アフガンイラク侵略戦争、それ以前に戦後米国は南米、アジアアフリカで自国権益の為に各種不法陰謀侵略。それで居て内外には自由と世界の民主主義警察官の米国評価の大嘘の闊歩。

(5)95年3月オーム事件は公安警察長期密偵監視下で起きた<週刊文春立花論文>。

上記(3)(4)に共通する事は独裁権力は平気で己権益の為に自国民犠牲隠蔽を強いる問題。

(6)戦後日本は実質米国傀儡政権の自民一党長期独裁体制、政治言論と政界等には裏で人事絡み等の謀略が絶えない。マスコミが真相暴露と自己浄化に機能しないからだ。

(7)一向に体質改善なき長期官尊民卑思想の下の組織義務規約違反の行政腐敗、

(8)顧客対価義務違反の強度自己中の実業界メーカーの欠陥車隠し、食品ラベルの嘘等、雇用側優位を盾にしての不当雇用形態とそれがもたらす国民生活秩序破壊。

(9)過当受験競争の商業的扇動と無意味有害な若年層育成への悪影響と父兄無駄負担増。中学高等学校の過剰学習が逆に大学での無気力化で逆さ。他方で落伍者の学習反動化。

(10)医療、障害者高齢者介護問題等の過度商売化が生む無駄費用と当事者たちの不幸。

医療には逆転があり、既成医療が医療経済のみに寄与、患者救済にない。正しい医療が隠蔽や制度差別され、過度商売化が不幸な介護現場をも生む事実。

②戦後日本人はなぜこうなったか！〈己欲得勤定のみに集中の「自己虫化」〉：

(1)「自己虫化」プログラム：

諸国民関心を商工業に仕向ければ「各自己の利益」のみ追求し、大局国家社会、政治は眼中から遠ざかり、共同の敵に気づかなくなる。

実例) 岸政権下の1960年日米安保問題では激しい反政府国民運動となり、継続したものの時の米国傀儡体制は対処を迫られ、池田内閣の所得倍増計画になる。以後は彼ら目論見通りに日本人関心は経済成長一途に向かい、経済動物とまで揶揄された。

(2)家庭富裕化と若年層の分裂化策謀＝受験学習競争。

以上の経済成長後(1965~1990)の日本家庭は経済富裕化し、住宅と子弟教育費が増大した。高学歴は高額所得への最短距離にあったからだ。その結果、受験競争商業化で加速化、受験学習は個室個人作業で他人は全て競争相手と言う事情は人を共生から分裂に誘導。学習競争から落伍すれば反動化、格差化と政治的分裂の現日本の基礎形成になる。

(3)90年バブル崩壊と長期不況10年時代で経団連人事格差悪魔化経営。

腐敗要素を持つ人物を支配者にし立て、これを操り人形化するはCIAの常套手段。米国は強姦前科2犯小泉政権をなぜ必要としたか。最大郵政資金300兆を民営化で流動化の基礎形成と収益構造頭打ちになった日本所得構造を富裕層集中化、その余剰資金の米国還流増大。即ち全てを米国への政策にあった。その結果が雇用格差化経営である。意外に思う事だろうが過去15年で日本の収益総額はさして伸びていない。結局日本人の必死の働きが自国の血肉になっていない兆巨額な裏切りを指弾できるだろう。

(4)小金持ち日本人の守銭奴化：

失う物がない人間はある意味で居直りの強さがある〈戦後近傍の純日本人〉、逆に経済成長後の日本人は個人資産、個人地位等を失う事を恐れる様になった。彼らは己財布の為に談合して政治的不埒物を使う危険もある。

(5)伝統的にも面子体裁を重んじ虚栄競争化日本：奴隸日本の冒頭序文でも指摘した通り。

③誤りを認める小不利益と大利益：

過ちて訂正するに選る物なし。勿論責任当事者は権威＝個人地位失墜を恐怖するのだ。己保身か、組織利益を取るかで真贋判断可能。

(1)左翼知的指導者：科学的マルクス主義={階級闘争史観, プロ独裁社会主義計画経済}, 本講座の格差化忌避、国民主権からは階級闘争史観, 労働者階級独裁もほぼ同一、だが日共は完全科学(超常現象、宗教無矛盾性)を否定して従来通りの既成西欧輸入科学を教条信奉、もって現体制派に裏奉仕の裏切りが指弾できる。ガルブレイスも言う事だが独占資本主義の最後＝社会主義化と言う説は大企業官庁労組等の背景にもある。だから東電、三菱の様な独占資本と日共は好相性、表で大資本非難で裏で絡る仕組み。左翼実態は現体制に乗る上の小経済圏に過ぎず、左翼看板で票稼ぎ、代議士商売も成立と言う事。

「革命なんでもっての他！」と言うのが左翼右翼本末転倒の本音。逆さがサタン特徴。主導権権益の為に犠牲になる生真面目に騙される党员、支持者たちが圧倒的多数に居る。

(2)教育者の場合一つに知的権威が商売看板だから厄介。戦後左翼弾圧史の中で彼らが暗示された事は外見リベラルを装い国民泣き言をくみ上げて味方姿勢に立つが、サタン体制転覆で体制変革になる様な事は絶対やらないと言う本質的な保身裏切りにあった。

(3)CIAも警察軍役人も税で食う、官尊民卑支配の共通仲間エリート意識が働くのだろう。強い政治実現だけが行政改革が出来る。